

私が生協に入協したのは、同じ高校の友達が生協でアルバイトをしていたことがきっかけ。人見知りの性格で、恥ずかしくて職員さんにあいさつもできなかった私が、生協で働くようになって変わった。まず、周りの職員の皆さんが失敗しても、できたことをたくさん褒めてもらえる！組合員さんの中には「井上さん、こんばんは！」と毎日のように声をかけてくださる方がおられ、私も自然とあいさつができるようになった。組合員さんと仲良くなると「もっと喜んでもらいたい！」と思うようになり、組合員さんから「この野菜、半分が欲しいんだけど」と要望があれば野菜を半分に切ってお渡しして喜ばれた。コープみやぎの基本方針には「自分の判断で組合員さんに喜ばれることをしている」とあり、アルバイトという立場でもとてもやりがいを感じることもできた。



それから結婚や出産を経て、一旦はコープみやぎを退職したが、元職場の皆さんから「戻ってきたい、支えるよ！」と声をかけてもらった。育児をしながらの仕事復帰には不安もあったが、他の職場を経験して改めて感じたコープみやぎのあたたかさ。「仕事と子育てを両立しながらやりがいを感じられるコープみやぎで働きつづけたい！」と思った瞬間だった。

仕事も家庭も両立できてきたころ、ベーカーリー部門のマネージャーを一年任せていただいた。自分でもうのもなんですが、私は仕事が早いと自負しています。(笑)だから自分ばかり頑張ってしまう、人に対して「どうしてもっと早くできないんだろう？」と悩んだ時期もあった。そんな時、先輩から「井上さんのスピードじゃなくて、普通の人のスピードに合わせないといけないよ！」「自分が頑張っているかどうかは周りの人が観てるとよ」という言葉をかけていただき、「相手の気持ちになって考える」ことができるようになっていったと思う。

私はいま、店舗支援部でベーカーリー部門のサポーターをしている。担当の店舗職員に商品作りの研修を行ったり、買い場の確認や職員同士が人間関係で困っていることはないか気かけたり、部門の数値を把握して経営が成り立つように分析し問題があればアドバイスをする仕事。

各店舗の職員の皆さんと、組合員さんに喜ばれたことを一緒に共有できる。困ったり分らないことはみんなで改善していく。職員が一丸となって、組合員さんに喜ばれることに向かってチームワークよく取り組んでいる時には、とてもやりがいを感じる。最初から全てはうまくいかない。うまくいかないことをみんなで知恵を出し合い乗り越えていくのが楽しい！これは、私が一年間のマネージャー経験を経て感じ、これからサポーターとして努力していきたいところです。

コープみやぎは、職員同士の絆が強くてあたたかい組織。これまで私がコープみやぎで仕事を続けることができたのは職員の皆さんや家族の支えがあったから。関わるすべての人とたくさんの「ありがとう」の言葉をたくさん伝え合って、これからもみんなで成長していきたい。

Ayaka Inoue

コープみやぎで成長できた私 関わるすべての人に
「ありがとう」 という言葉をたくさん伝えて みんなで 成長 し合っていきたい



子育てと仕事の両立!自分のやる気次第で仕事も成長できる!

高校生の時、アルバイトとしてコープみやざきで働くことになったことが、私の生協人生の始まり。出産を機に途中でコープみやざきを退職したが、他の企業で働いたときにコープみやざきの良さを改めて実感することになった。ふたたびコープみやざきで働くことになったとき、「母親は子どもにとって一人しかおらんのやから遠慮せず休みない!」「みんな母親の経験者なんだから」と、一緒に働く職員からいただいた優しいエール。子どもの参観日には一時間だけ仕事をぬけて、子どもの様子を観にいかせてもらったり、周りの職員のあたたかいサポートに守られて、働かせてもらえたことにとても感謝している。

3人の子どもの出産を経て、浜町店ベーカリー部門のマネージャーを1年任せていただいた。子育てと仕事を両立しながら職員の皆さんと組合員さんに喜ばれる買い場づくりに力を入れて取り組んだ。そんなある時「複数の店舗を担当する店舗サポーターをやってみないか?」とベーカリー部門のサポーターに声をかけられ、自分がこれまで生協で学んできたことを他の店舗にも広げていきたいと思い引き受けた。そして昨年度専任職職員(月給職)の試験に挑戦した。コープみやざきでは内部でステップアップできる仕組みがあり、パート職だった私は専任職職員になると契約時間が長くなりさらに仕事の幅を広げられるのではと思い挑戦し合格することができた。

これからはさらに総合職職員の試験に挑戦し、コープみやざきで成長していきたい。